

聞思

今号の法語

年を経て
浮世の橋を見返れば
さても危うく渡りぬるかな
兼好法師

光山寺
〒758-0063 光山市大字山田4553
TEL (0838) 22-1370
http://kousanji.net

萩組 本山に団体参拝!



親鸞聖人の七五〇回大遠忌法要に萩組から二百十四名が団体参拝した。

九月十四日の午後の法要に向けて、一泊二日と、二泊三日のコースにての参拝となった。五十年に一度のこの法要は、毎回三千人を対象に百十五座の法要が勤修となるが、十四日午後の法要では宗祖鑽仰の音楽法要にて勤修された。ご門主さまに、春にお子様誕生された新門さまもご出勤、荘厳な雅楽の演奏とコーラスも加わり、賑々しい法要となった。参拝者一同の感動もこの上ないものとなった。また、同時に行われた帰敬式では、全国の受式者を代表して光山寺門徒の山中正喜さんがご門主さまから直接法名を拝受するなど、五十年に一度の貴重な法要にて又とないご縁となった。二日目の十五日は、一泊組は比叡山や青蓮院など、親鸞聖人ゆかりの京都市内を、二泊組は関東の草庵があった西念寺や築地本願寺を訪ね、浄土真宗についての理解を深めた団体参拝となった。

仏教婦人会バザーに關しての報告

光山寺仏教婦人会会長、河村一江さんより、去る七月二・三日(土・日曜)に開催された光山寺仏教婦人会法座におけるバザーの報告を頂きました。「まず東日本大震災に遇われた方々の一日も早い復興を念じています。今年は常任委員会でバザーの収益金は全て震災募金に送金させていただきます。例年にも増して、皆様の協力をいただき、手作り作品もたくさん出品していただきました。全てが好評で、あつという間に売り切れる作品も沢山ありました。本当に感謝の言葉しかございません。また、本堂には義援金募金箱を設置してもらい、お参りにこられた方々や法座の折に参拝された方々に寄付していただきました。お陰様で今年はバザー収益金十五万六千九百四十四円、義援金募金箱の募金八万六千七百七十七円、合計して二十五万五千六百二十一円(足りない分は会計より出金)を西本願寺助け合い口座を通じて送金させていただきました。誠に有り難うございました。一人一人の力は小さなものかもしれませんが、何事かをやると決めた時の皆様の活躍、感謝の念に堪えませんが、本当に「苦勞様でした。」

尚、東日本大震災に対して支援物資をお寺にお届けいただいた皆様、日曜学校にて寄せ書き支援をしていただいた皆様、重ねて御礼申し上げます。東北の仙台別院を通じて活用させていただきます。御礼状が届いておりますことをお知らせします。

夏休みキッズサンガで今年も素麺流し

光山寺では、毎月の原則第三土曜日午前九時より土曜学校を開催しています。「正信偈」のお勤めにお話、仏教賛歌におやつ(約一時間程度)の子供のための仏教行事です。この土曜学校は主に小学生を中心とした行事であります。親鸞聖人の七五〇回大遠忌を期して、子供を中心とし、保護者や仏教壮年会・仏教婦人会など世代を超えた行事「キッズサンガ」を開催し、お寺に足が向くようにと気運を高めています。光山寺では一昨年より、夏休み子供早起朝食会を拡大し、キッズサンガとして開催してきました。本年も従来の早起朝食会は、ラジオ体操・境内清掃・勤行・簡単な朝食部分を拡大して、素麺流しを企画し、約五十名という多くの子供や父兄の方々に参加していただく事ができました。企画に際しては、総代会・仏教壮年会・仏教婦人会などの各役員の皆様の協力をいただきました。特に、竹の切り出しなど、猛暑の中を仏教壮年会有志の皆様には誠に「苦勞さまでした。また、婦人会の皆様には素麺をはじめ、食事の準備などご協力いただき、大変に有り難うございました。



尚、萩組が開催しています夏休み子供一泊合宿が七月二七・二八日に萩幼稚園を会場に開催され、光山寺より十一名の参加がありました。

光山寺行事案内

平成二十二年度九月〜十二月までの光山寺行事予定一覧です。万障繰り合わせてご参加ください。

★光山寺法要関連

九月二六・二七日(月・火曜)

秋季永代経法要(講師、上原泰教師)

十一月二八・二九・三十日(日・月・火曜)

報恩講法要(講師、桑羽隆慈師)

★山口教区・萩組関連

九月十四〜十六日 萩組本願寺団体参拝

九月二十四日(土曜) 萩組総代・世話人研修会(清光寺)

十月 九日(土曜) 連件オリエンテーション(真行寺)

十一月十九日(土曜) 第一期第一回連研(光源寺)

十一月二十五日(金曜) 山口別院にて帰敬式執行

十一月二六〜二八日(土・月曜) 山口別院報恩講法要(山口別院)

※二六日の萩組参拝者募集中

十二月十七日(土曜) 午後二時 萩組子供報恩講(明円寺)

十二月二六日(月曜) 午後五時 住職・総代合同会議

★子供会(土曜学校) 関連

九月十七日(土曜)・十月十五日(土曜)・十一月二十日(日曜)

十二月十七日(土曜)・子供報恩講一月八日(日曜)

★仏教青年会関連

十二月三十一日(土曜) 除夜会

一月二十二日(日曜) 萩組青年ボウリング大会

★仏教壮年会関連

十一月二九日(火曜) 午後七時 報恩講夜座(本堂)

十二月二四日(土曜) 午後六時 光山寺仏教研修会・忘年会

★仏教婦人会関連

九月二四日(土曜) 午前八時半 秋季永代経の清掃・荘厳

十一月二六日(土曜) 午前八時半 光山寺報恩講の清掃・荘厳

★親鸞聖人讃仰会

午後八時(本堂)

★礼讃の夕べ(旧、正信偈唱和会)

午後八時(本堂)

★雅楽練習会

十月十六日(日曜) 午後七時半(庫裡)

★仏教讃歌コーラス練習会

毎月第三木曜日

※雅楽・コーラスは新規参加者募集中。気軽にお問合せください

山口別院定例法座・毎月五日午後一時半(一月は十時半)

萩こころの電話(三分間法話) Ⅱ2557710

西本願寺の時間(KRYラジオ) 毎週日曜日午前六時から十分

昔券佳集、お知らせ

◆◆◆ 第十一期連続研修会受講者募集 ◆◆◆

萩市内(大井、三見などを除く)の浄土真宗寺院二十二ヶ寺が、萩組という組織のもとに、同一人物を対象に、連続的に仏教や浄土真宗のみ教を体系的に学んでいただく研修会(通称「連研」、一期二ヶ年・二ヶ月に一回開催)の受講者を新たに募集することとなりました。この連研は、浄土真宗のみ教をひろめていくために、僧侶はいうまでもありませんが、ご門徒の中から運動の推進者が育たなければならぬという事から実施されてきました。また、それは単に知識を得る場ではなく、私が信心の行者にお育ていただく場でもあり、「法座の課題」をふまえて講座・研修が開催されています。現在まで萩組では約四二〇名のご門徒の方々が受講されています。受講申込の詳細は、本堂焼香台横の別紙黄色の募集案内をご覧ください。

◆◆◆ 今年も別院にて帰敬式 ◆◆◆

山口別院の報恩講に合わせて今年も帰敬式が執り行われます。帰敬式は、阿弥陀さま・宗祖親鸞聖人の御前で浄土真宗の門徒としての自覚をあらたにし、今後力強く生きていくことを誓う生涯ただ一度の大切な儀式で、「おかみそり」ともいいます。式は原則としてご本山でご門主によって執り行われ、三帰依文を唱えて、おかみそりを受け、法名をいただくのですが、本願寺以外でも帰敬式執行が可能となりました。受式者全員、椅子で帰敬式を受式できるので、このご縁に是非受式ください。日時は十一月二十五日(金曜日)午後一時より受付。午後二時執行。冥加金は成人一万円・未成年五千円を当日持参ください。申込み方法は、お寺まで氏名・生年月日・住所を必ず十月十五日までにお知らせください。また、この度の帰敬式では法名の内願(本人がご希望の法名を付ける事)が、残念ながら期日の関係でできません。尚、ご本山での帰敬式は従来どおり毎日2回行われています。(一月一日・一月十六日の晨朝後、一月八日・十一月二十日終日を除く)



◆◆◆ 報恩講夜の座 ◆◆◆

光山寺の報恩講日程は毎年十一月の二十八・二十九・三十日の三日間の固定で、朝・昼の合計六座の法座がもたれている。日程の関係上、仕事などで聴聞ができにくい方々のために、ご講師の宿泊される場合に限って二十九日には夜の座が開かれている。今年の報恩講ではこの夜の座が十一月二十九日のみ午後七時より開かれる。今年のご講師の先生は、子供にも分かりやすいお話をしていただけるかと思えます。また、この夜の座には雅楽演奏も加わる予定です。尚、夜の座が開かれる関係から三十日は午前中にて満座終了となる。また、夜の座が仏教壮年会の研修をかねているので壮年の方々は万障繰り合わせの上ご参加ください。

◆◆◆ 冬の児童作品募集 ◆◆◆

本願寺では「親鸞聖人七五〇回大遠忌法要」が四月九日から始まりました。来年一月十六日まで六五日間にわたり一五座がつとめられ、全国各地から多くの方にご参拝いただいております。この法要を記念して「全国児童生徒作品展」を開催いたします。私たち一人ひとりが仏さまのみ教えの中で育てられ、生かされている喜びを、作品に表してみましよう。

「作文・詩」

テーマ1「であい」 テーマ2「いのち」 テーマ3「きずな」
親鸞さまのご生涯のお話を聞いたり、また今回の大震災や身近なできごとを体験して感じたことや学んだことなどを書いてみましょう。
・ 幼児規格無し ・ 小学生 B4縦書400字詰原稿用紙3枚以内
・ 中学生 B4縦書400字詰原稿用紙4枚以内

※原稿用紙の1行目に「題」、2行目に「単位名(団体名)」および「学年」、3行目に「氏名・ふりがな」を必ず明記してください。

「絵画」

課題はありませんので自由に描いてください(カラー・モノ・版画も可)。四切(38cm×54cm)以内(全学年共通)。名札を作品下部中央につけてください。

「書言」

幼児Ⅱ自由に書いてください(一字でも可)。
小学1年生Ⅱ「じひ」 小学2年生Ⅱ「ちえ」
小学3年生Ⅱ「一心」 小学4年生Ⅱ「信心」
小学5年生Ⅱ「念仏」 小学6年生Ⅱ「真実」
中 学 生Ⅱ「無量寿如来」
※学年・氏名は、自筆で左側に書くこと。ただし、低学年の場合は姓または名前だけでもよい。園児・小学生半紙(タテ33cm×ヨコ24cmに限る)書体は楷書。中学生、画仙紙半切四分の一の大きさ(タテ68cm×ヨコ17.5cm)書体は楷書もしくは行書。名札を作品下部中央につけてください。

表彰

- (1) 小・中学生の各部門入賞作品を表彰いたします。
「大遠忌記念賞」各部門各学年一名
「本願寺賞」各学年三名以内
「佳作」各学年若干名
- (2) 幼児の各部門入賞作品を表彰いたします。
「はと賞」各部門若干名
- (3) 応募者全員に参加賞を贈ります。

出品方法 十月二十五日までに光山寺迄お届けください。

※山口別院作品展については別紙案内をご覧ください。

◎若院司教昇階祝賀会に出席して 光山寺総代 堀誠一



去る七月八日、京都センチーホテルに於いて、武田晋先生司教昇階祝賀会が挙行されました。私と河村幹生総代が出席させていただきました。この祝賀会は光山寺若院の先輩、仲間の皆さんが発起人となり企画されたもので、本山の橋総長、山西念寺住職深川和上をはじめ、先輩、同僚仲間や龍谷大学の教授、学生及び京都の裏千家茶道師匠、茶道仲間など多くの皆さんの出席のもと開催されました。私たちはステージの真ん前の橋総長と同席の玉賓席に座らせられ大変恐縮しました。祝賀会は橋総長のお祝いの言葉にはじまり、ご来賓の祝辞が続く、祝杯、雅楽の演奏、女子学生のダンス、余興やお祝いの言葉があり、会も盛り上がるなか、クライマックスの若院への花束、記念品の贈呈、若院の謝辞があり最後に発起人代表の川添和上よりの謝辞、記念撮影で祝賀会も盛会のうちに終了しました。私も光山寺門徒の代表としてお祝いの言葉を述べさせていただきましたが、とりとめない挨拶となり、若院にご迷惑をかけ申し訳ない事をしたと反省をしております。

祝賀会に出席しての私の思いや感想を述べさせていただきます。まず、多くのお祝いの言葉の中に若院のこれまでの功績をたたえ、今後の活躍を期待するとの発言がありました。ある和上が「武田先生は大変な努力をされ司教になられた。司教は、最高学階の勸学と並び、教義の研鑽を究めた格別な階位としての和上であり、今後、浄土真宗の教義、教学の指導者として更なるご指導をお願いします」と言われ、若院の宗門における重職を思い大いなる感銘を受けました。また、若院が茶道に長じておられ、今までも裏千家茶道専任講師(現在、准教授)を勤められるなど茶道にも貢献されていることを初めて知りました。茶道師匠のお祝いの言葉の中、武田先生は大変お忙しい身でありながら、寸暇を惜しんで茶道を熱心に勉強され、今日の地位を得られました。他のお弟子さんも少し武田先生を見習ってほしいにも、若院の平素の努力、勤勉を再認識致しました。最後に、祝賀会の出席者の皆さんから「死生」と呼ばれる若院を見ると、これからは光山寺の若院としてだけではなく、若院が本山での教学の指導者として、大学での真宗学の教授として重責を全う出来る環境作りのためと、併せて毎週若院を京都へ送り出されている任職と坊守の心境を察しますと、ますます御恩感謝と光山寺の護持発展につとめなければいけない思いを強くした次第です。なおこの度、ご縁がありこの祝賀会に出席させていただきました。本山の橋総長や多くの方々にお会い出来たことは、私にとつてこの上のない喜びであり感激でございました。合掌